

わたしの 意思表示 (高校生用)

もうすぐ名実ともに主権者として18歳選挙権の行使をすることになる高校生みなさんに呼びかけます。

現在、自衛隊の海外での活動の内容や範囲を一段と拡大し、戦後の政府が一貫してかかげてきた「専守防衛」（自衛隊は本土の防衛に徹し、海外には派兵しない）という理念さえ取り払う「安保法制」が国会で審議されています。

戦後日本の自衛隊は、海外で一発の弾さえ撃たず、「殺し、殺される」こともありませんでした。

日本が「戦争できる国」「戦争する国」になってしまうかどうかの岐路に立っています。

「戦争する国づくり」を許さない、高校生の意思をあらわしましょう。

2015年 夏

静岡県高等学校障害児学校教職員九条の会

戦争させず、平和を守るためには どうしたらよいのでしょうか。

A 日本を攻撃しにくくするために、集団的自衛権を認め、海外でも「戦争できる国」にしておく。

B 「必要最小限」の「自衛力」は用意するが、海外での戦争には参加させず、「専守防衛」に徹する。

C 憲法九条を守り、武力と戦争の放棄を世界に訴え、戦争の原因になる貧困や差別をなくす努力をする。

に、「そう思う」「いいね」！！

私のひとこと

(よかったらあなたの意見や思いを書いてください。)